

平成25年度 阿賀野市社会科部 活動報告

部長 山沢 正仁

1 研究主題 地域素材を生かし、学力向上を目指した社会科の授業作り

2 研究の概要

4月23日(火) 第1回部会 組織の構成・役割・事業計画の作成

6月11日(火) 第2回部会 見学会「五頭の麓のくらし館」

11月26日(火) 第3回部会 講演会「阿賀野市の歴史について」

3 研究の実際

(1) 見学会「五頭の麓のくらし館」

五頭の麓のくらし館には、縄文人の生活の展示、民俗展示、歴史展示、考古展示、産業展示、地質展示などがある。これらについて、講師の渡辺様から、詳しく、分かりやすい説明を受けた。

内容的には、3年生、昔の暮らしに関する展示品が多い。また、6年生歴史に関する資料も多い。撮影した画像や説明を使って、児童の興味・関心を高める教材の作成を行うことができるようになった。



(2) 講演会「阿賀野市の歴史について」

「阿賀野のあけぼの」「阿賀野の確立(越後の中の阿賀野)」「織豊期から徳川幕藩期」「明治期～大正期」の4部構成で、阿賀野市の歴史についてお話いただいた。上杉や徳川などの武将との関連、瓢湖(外城大堤)や越後府(天朝山)の歴史など、興味を引く話題と話術であっという間の90分だった。

阿賀野市に生きる子どもたちに、伝えたいくなる話題ばかりで、教える側の知識と意欲の必要性を改めて感じた。



4 成果と課題

今年度の研修で、阿賀野市の歴史や文化について理解を深めることができた。これらを教材化し、授業に役立てることも画像などを利用できるようになった。また、阿賀野市の歴史への理解を深めるにつれ、「子どもに伝えたい」という思いが高まった。教師の知識、そして、意欲は大切である。授業改善の基礎を固める研修ができたと感じた。